

チャレンジシート① 学ぶ

★ 題名の「なまえつけてよ」にかかわる質問に答えましょう。

★ 教科書21ページの5行目の「…そうだ、名前、つけてよ。」は、だれが、だれに言った言葉でしょう。

牧場のおばさんが、春花に言った言葉。

★ 教科書28ページの11行目の「なまえつけてよ」は、だれが、だれに伝えた言葉でしょう。

勇太が、春花に伝えた言葉。

チャレンジシート② きほん

読解学習シート

1 教科書の25ページ13行目から28ページ4行目までを読み、答えましょう。

(1) 春花のがっかりしている様子は、どんな行動に表れているでしょう。一文を書きぬきましょう。

春花は、だまっただまま、さくからつき出た子馬の鼻にさわってみた。

(2) がっかりしているのに、「いいんです。それなら、しかたないですね。」と明るい声で答えた(28ページ2行目)春花の気持ちを想像して書きましょう。

名前をつけられなかったことや子馬とのお別れは、とても残念だけど、その気持ちをおばさんに気付かれて、困らせてはいけないという心情。

(3) こまったような顔をして、春花をじっと見ていた(28ページ4行目)勇太は、春花に対してどのような思っていたでしょう。

春花が、残念なのに明るい声で答えていることを感じ取り、名前がつけられなくて残念だろうな、かわいそうだなと思っている。

- 2
- ① 勇太が春花にわたしたのは、どんな「紙で折った小さな馬」(28ページ9行目)だったでしょう。
 - ② また、勇太はなぜ、それをわたしたのでしょうか。

<p>① 様子や特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不格好だけれど、たしかに馬と分かる。 ・ ひっくり返してみると、ペンで「名前つけてよ。」と書いてある。 ・ らんぼうなぐらいに元氣のいい字が、おぼついている。 	<p>② 理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紙で折った小さな馬に、代わりに名前を付けることで、少しでも元氣を出してもらいたいと思ったから。
--	---

チャレンジシート③ ジャンプ

1 春花と勇太のかかわりは、どのように変化してでしょう。一日目と三日目をくらべて書きましよう。

【一日目】

一日目は、きっかけを作ろうと努力する春花に対して、うまくかかわれない、かわろうとしない勇太であった。

【三日目】

三日目の、紙の子馬を手わたした出来事をきっかけにして、勇太の新しい一面を発見した春花は、勇太に感謝し、お互いに共感し合い理解し合う関係へと変化した。

2 春花が心の中でつぶやいた「ありがとう。」(29ページ3行目)の続きに、感謝の言葉を続けて書いてみましょう。

子馬の名前をつけられなかったので、本当は
がっかりしていたの。分かってくれてうれしい
よ。こんなかわいい馬をもらったので、一生懸命
にいい名前を考えるからね。待っててね。



◎ 勇太が自分の気持ち(本当はがっかりしていた)を分かってくれたことや今後の理解し合う関係につながるような内容であれば、よいでしょう。